

団体名		公益財団法人 武蔵野市福祉公社						
① 事業	指標名	権利擁護事業の着実な推進			目標値	320人	実績値	290人
	過去の実績 (単位: 人)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	90.6%	達成状況	未達成
	取組内容	※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 市の成年後見利用促進基本計画の策定に関与し、令和2年度からの計画実施の準備を進めた。 地域福祉権利擁護事業と生活保護受給者金銭管理支援事業については、適切な運用となるよう、対象者の振り分けの見直しを行った。 つながらりサポート事業については、日常的な金銭管理が行えるようサービスの検討を行った。 老いじたく講座や広報などにより事業のPRを行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 新規利用者は一定数確保しているが、死亡などにより利用の終了が増加しており、利用者数が減少している。 利用者のニーズを把握し、新たなサービスの提供を検討するとともに、様々な手法を活用して広報に努めていく。						
	二次評価	市の成年後見利用促進基本計画の策定に関与し、計画実施に向けた準備を進めたことや、各事業の見直しや検討を進め、適切なサービス提供を行うよう取り組んだことは評価する。引き続き、利用者ニーズを把握したうえでのサービス提供を行うとともに、積極的な事業PRに努めていただきたい。						
② 財務	指標名	職員の労働生産性の伸び率（前年度比）			目標値	2.0%	実績値	3.9%
	過去の実績 (単位: %)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	195.0%	達成状況	達成
	取組内容	※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 計画期間を5年とする第三期中長期計画の初年度であり、事務の効率化や人材の育成などを着実に実施した。 東京都生産性向上コンサルティングを活用し、業務効率化の実現のためのマネジメントを依頼、実施した。 働き方改革として、月超勤20時間以下、年休70%取得を目標に掲げ、実現に向けた取組みを行った。 令和2年度から入れ替わる情報システムの更新の準備を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 今年度準備を行った情報システムの更新により、令和2年度からは外出先で公社のサーバーにアクセスできるようになり、在宅勤務にも活用できるようになる。そのほかにも事務効率化のためのシステムを導入し、生産性を高めていく。						
	二次評価	第三期中長期計画に基づき、事務の効率化や人材の育成等を実施したほか、外部コンサルティングを活用した業務効率化に取り組んだ結果、目標を大きく上回ったことを評価する。令和2年度に導入する情報システムにより、さらなる超過勤務時間の削減及び業務効率化が期待されるため、引き続き職員の労働生産性の向上に努めていただきたい。						
③ 内部	指標名	人材育成基本方針に基づく人材の育成及び人材の確保			目標値	職員研修計画に基づく研修の実施	実績値	職員研修計画に基づく研修の実施
	過去の実績 (単位:)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	取組内容	※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 専門機関による職位別や職種別の研修の受講や、他団体での実地研修等を実施した。 職員採用は4月だけでなく、常時実施している。 組織の活性化を図るとともに、職員のスキル向上を図るため、大規模な人事異動を実施した。 職員研修計画に基づき、以下のとおり研修を実施した。 ・階層別研修 30人 (13人) ・専門研修 延べ1,088人 (411人) ・全体研修 5回 延べ334人 (6回 301人) ・自己啓発 16人 (24人) ・その他 49人 (48人) ※ () は前年実績						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 資格や経験のない者も採用し、公社内での人材育成を図っていく。 様々な業務に携わるなどの経験を積むことでスキルをあげるために、定期的な人事異動を行っていく。 今年度は講義形式の研修の受講が困難な状況のため、通信教育受講助成の運用を拡大し、受講を促す。						
	二次評価	職員研修計画に基づき、前年実績を上回る参加人数等に及び研修を実施し、人材育成に努めたことを評価する。引き続き、各種研修の実施及び定期的な人事異動により人材育成を図るとともに、人材確保に向けた取組みを進めていただきたい。						